

別冊目次

附録

附録第一

第二十八軍作戦地域兵要地誌ノ概要

附録第二

第二十八軍作戦計畫一昭和十九年二月策定〇ノ大要

附録第三

第二十八軍作戦計畫一昭和十九年七月策定〇ノ大要

附録第四

第二十八軍連作戦計畫一昭和二十年四月下旬策定〇ノ大要

附録第五

昭和十九年二月ニ於ケル第二十八軍情勢判断ノ大要

附録第六

昭和十九年七月ニ於ケル

附録第七

昭和二十年一月ニ於ケル

附録

附録第一二

第二十八軍情報組織ノ概要

附録第三

作戦各期ニ於ケル指揮官及軍務係名表

附録第四

各兵團編成表ノ概要

附録

附録第一

昭和十九年一月下旬ニ於ケル敵勢要圖

附録第二

北極「アラカン」作戦戦況経過要圖其ノ一(自三月四日 至二月廿九日)

0811

- 附圖第三 右 其ノ二（自三月一日 至四月下旬）
- 附圖第四 右 其ノ三（自五月一日 至六月第十日）
- 附圖第五 右 其ノ四（「カラダシ」方面）
- 附圖第六 昭和十九年兩季戰時期（十月上旬）ニ於ケル軍ノ態勢
- 附圖第七 樞支隊作戰經過要圖（支隊主力方面）
- 附圖第八 右（「カラダシ」河谷方面）
- 附圖第九 「アラカン」山系以西ニ於ケル第五十四師團作戰經過一般圖
- 附圖第十 北方陸正面作戰經過要圖
- 附圖第十一 「ベグー」山系ニ内フ兵力機動概況要圖
- 附圖第十二 通（「シツタン」突破）作戰經過要圖

以外ニ著明ナル道路ナキモ山幅淺ク沿岸方面ヨリ「マニ」河流域へノ滲透可能ナリ

5 「モードク」山脈

「カラダン」河谷ト「マニ」河谷トノ中間地帯ヲ印緬國境ヨリ南下スル山幅十軒内外ノ山脈ニシテ山根概ネ「マニ」山脈ニ類似スルモ印緬國境へ移ルニ從ヒ斜面急峻ノ處ヲ加ヘ竹林密生ス

6 「ベグー」山脈

「マングレー」街道「フローム」街道中間地區ヲ南北ニ縱走スル標高三〇〇米内外山幅六〇軒内外ノ竹林ヲ主体トスル山脈ナリ横断路ハ「ベグンチ」ト「トングー」道ニ車道乾季自動車道ノ外著明ナルモノナク山地内ノ交通ハ山背ヲ過ズル徒歩道、象道ニ依ル山内人煙稀薄ニシテ尙新乃至十五軒間隔ニ十數戸ノ「カレン」人部落散在シ種々ハ山麓附近ノ小開墾地ニ於テ家ムル以外ハ皆無ナリ雨季「マラキヤ」ノ根源地ナリ

一河川

1 「イラワジ」河

「マングレー」附近ヨリ「エナンション」附近ヲ經テ南流シ下流ニ於テ

「ラングトーン」河「ビヤマロキ」河「バセイン」河等ヲ分岐シ所屬「イ  
 ララデデルタ」地帯ヲ構成シ「アングマン」海ニ注グ緬甸一ノ大河ナリ  
 河幅「マンダレー」以南ニ於テ千五百米内外「ヘンサダ」附近迄五百噸  
 級ノ船隻ノ通航可能ナリ兩岸森林開闢舟艇ノ對空運搬道地ニ乏シ雨季ハ  
 全河滿水シ流速三ノ四米ニ及ブ

2 「カラマン」河

印緬國境ニ源ヲ設ケ「ミロサホン」平地ヲ經テ南流シ「アキヤブ」ニ於  
 テ「ベンカル」灣ニ注グ河幅「ミロサホン」附近ニ於テ約五百米河口約四  
 千大艘ハ「カラマン」附近小艘ハ「ボレト」附近迄通航可能ナリ

3 「マニ」河

「マニ」モ「モロドク」兩山脈分岐點ニ源ヲ發シ「ブチドン」附近ヲ經テ  
 南流「アキヤブ」ニ於テ「ベンカル」灣ニ注グ河幅「ブチドン」附近ニ  
 於テ約五百米河口附近約四千「ブチドン」附近迄大小艘ノ通航可能ナリ

4 「ナロー」河

「モンドウ」地區印緬國境ニ沿ヒ印度領内ヲ南流シ「アレサンロウ」附  
 近ニ於テ「ベンカル」灣ニ注グ河長大ナラザルモ「モンドウ」附近迄ハ

五千噸級三千噸級ノ船舶ノ出入容易ナリ

「バセイン」河

「ヘンサダ」附近ニ於テ「イラワシ」河ヨリ分流「アタカン」山脈東

側ヲ南流シ「バゴダボイント」附近ニ於テ「アムタマ」海ニ注グ河

河口附近ニ於テ約四軒「バセイン」附近ニ於テ約五〇〇米「バセ

イン」附近マテ三〇〇噸級船舶ノ出入可觀ナリ

「シツマン」河

「ウヤン」高原「マングレ」街道中間地區ヲ南流シ「マルカベン」

海ニ注グ河幅「トンドキ」南方ニ於テ一五〇―二〇〇米河口附近ニ於

テ約一五〇米乾季ハ「ユニアンレピン」附近ヨリ上流ハ渡渉容易ナ

ルモ雨季ハ洪水流速三米ニ及ブ

其外他

「イラワシ」河ヨリ分流シ「イラワシタル」地帯ヲ構成スル「ラン

グーン」河「ビヤマロー」河等概ネ「バセイン」河ト類似セル景況ヲ

呈ス

「メグー」山脈ニ面シテ「シツマン」河ニ分流スル「ビエ」河「ク

ン」河ハ河幅一〇〇—一五〇米ニシテ乾季ハ波涉容易ナルモ雨季洪水  
流水二—三米ニ及ブコトアリ

ニ海岸並ニ島嶼

I「アキヤブ」地区ヨリ「バゴダホイント」ニ到ル延々七〇<sup>ノ</sup>新ニ亘ル「ベ  
ンカル」沿岸ハ一般ニ燐岩地帯ニシテ砂漠短ク處々上陸ヲ制限ス一附圖  
第一参照)

「タンカツブ」以北沿岸ニハ「ラムレ」島「チエドバ」島「ホロンカ  
島」始メ大小幾多ノ島嶼散在ス

「タンカツブ」以南ハ概ネ燐岩又ハ「マングローブ」地帯ノ海岸ニシテ  
變化ニ乏シク僅ニ「サンドウエイ」「グワ」ノ小港灣ヲ有スルノミ

2 「ラムレ」島

周圍約三〇〇<sup>ノ</sup>新ノ島ニシテ島ノ南端ニハ稍々險峻ナル山地アルモ一般ニ  
丘陵地帯ナリ「ベンカル」沿岸ノ大抵ハ砂漠ニシテ上陸容易ナリ東岸ハ  
一般ニ「マングローブ」地帯ヲ以テ「アラカン」沿岸ニ連リ此ノ間大小  
ノ水路錯綜ス

3 「チエドバ」島

一 平野

エ「イラワシタルタ」地帯

面積約二〇〇平方ノルニシテ西端漸々ニハ稍々險峻ナル山地アルモ他ハ丘陵ヲ含ム水田ニシテ乾季飛行機進地多シ漸々ハ一分ヲ除キ上陸容易ナリ  
「ヘンサダ」附近以南「イラワシ」河ヲ主幹トシ大小流多ノ河川ト之ニテ左右ニ連接スル狀溝渠ニヨリ水田地帯ヲ包繞シ稲作ノ敷倉帯ト稱セラル小村落ハ河川溝渠ニ沿ヒ集在シ交通ハ主トシテ舟艇ニヨル中心都市ハ「バセイシ」ナリ

乾季ハ概ネ「ラングーシ」ー「バセイシ」水路以北地區水田河川溝渠ニ乾涸シ鴉ル處飛行機進地トナリ機甲輸送ノ通過容易ナリ

雨季ハ河川溝渠ハ氾濫シ地帯益々湖沼地帯ノ感ヲ呈ス

エ「ブローム」街並雨側平野

「バグ」山脈「イラワシ」河川ハ一帯ノ水田ニシテ平坦開闢乾季則ル處飛行機進地ナリ

エ「ブローム」ト「トントシ」ー「ボバ」山道雨側平地

大波狀灌木疎林地帯ニシテ給水極メテ困難狭軌取組ノ路外通過到ル處

島ナリ

「ボス」山ハ平地ニ屹立シ「イラワシ」左 平野ノ要點ナリ

「タエトミヨ」「ミンブ」縣ノ平地

「イラワシ」河「アラカン」山脈間ノ東西五〇軒南北二〇〇軒ノ水田

「丘陵ト連接スル地域ニシテ各種ノ農産物ニ富ム

「シツタン」平地

「シヤン」高原「マンダレー」街道間ノ東西約二五軒ノ一面水田地帯

ニシテ乾季ハ乾涸シ湖ル處飛行機道地ナリ

雨季ハ河川流域氾濫シ湖沼地帯ノ種ヲ呈シ水田中ハ泥噴騰ヲ復シ水流ト

開キ渡渉不可謂トナル

三 氣 象

緬甸ニ於ケル氣象ノ特性ハ乾雨季ノ所産ナル區別ニ存ス即チ乾季ハ十月ヨリ

四月ニ亘ル間ニシテ十一月ヨリ一月ニ亘ル間ハ日本ノ秋季ヲ思ワシムルカ如

キ清涼ヲ感シ「アラカン」山系「アヤヤ」以北地區等ニ於テハ夜間寒冷ヲ

感シ眞暑火ヲ必要トス二月ヨリ逐次氣温上昇シ四月ニ於テハ暑熱最高ニ達ス

特ニ「マンダレー」附近ヨリ「ブローム」附近ニ到ル「イラワシ」河流域ハ



熱熱度クカ如ク熾ト雖モ水例ヲ現象ヲ呈シ日中華氏百三十餘度ニ達スル日種  
ナラズ

雨季ハ五月ヨリ九月ニ到ル間ニシテ五月ニ人ルヤ驟雨連次ソノ數ヲ増加シ六  
月ヨリ本格的雨季ニ入り七月ニ於テ最高潮ニ達ス本期間ハ終日降雨連續シ河  
川ハ悉ク氾濫シ山中ハ「マツリヤ」狩猟ス降雨量ハ地城ニヨリ異リ「アラカ  
シ」山脈「ベンカル」沿岸「イラワヂタルタ」地帯「シヤン」高原西麓等ハ  
多雨地帯トス之ニ反シ「ビンマナ」「プローム」ヲ連スル線以北「イラワヂ  
河」ニ到ル間ハ降雨少ク「エナシヨン」附近ハ雨季最盛期ニ於テ驟雨アル程  
度ニ過ギズ  
八月ニ人ルヤ逐次降雨間數兩倍ヲ減シ九月ニ人ルヤ晴天逐次ニ多ク乾季ニ移  
行ス

第四 交通（附圖參照）

一 道路

「ラングロム」―「プローム」―「マクエ」―「エナシヨン」―「メイ  
クテイラ」道ヲ交通幹線トシ之ト「マングレー」街道ヲ東西ニ連接スルハ  
「ウツター」―「トングー」道（乾季自動車道）―「トントシ」―「ナモ

「ウタ」―「イタマシ」―「ヤンド」―「ヤメセン」道（乾雨季自動車道）  
 之ト「アラカン」山脈ヲ越ヘ「ベンカル」沿岸トヲ連接スル「バド」―  
 「タンカワ」道（乾雨季自動車道）「ミンブ」―「アン」道（乾雨季自動  
 車道）ソノ他「ベンカル」沿岸ニ定ル「タンカワ」―「ラム」―「ギヤ  
 グ」―「タマンド」道（乾雨季自動車道）「ヘンサダ」ヲ起點トシ「ヤヨ  
 ゴ」及「チヨヤ」ニ到ル北地―「イラワヂタルタ」地帯ノ道路（乾雨季  
 自動車道）以外ハ大抵分午車道取馬道ナリ

鐵道

「ラングーン」―「ブローム」線「レバダ」―「タロー」シヨウ」線「ヘン  
 サダ」―「バセイ」線「トント」シ」―「ビンマナ」線等アルモ鉄軌ニ  
 シテ輸送力一日五乃至八列車ニ過ギズ旅客飛機等ノ妨害ニヨリ影響ヲ受ク  
 ルコト大ナリ

水路

「イラワヂタルタ」地帯「ベンカル」沿岸「アキヤブ」―「カラダ」―「マ  
 ニ」地区ハ地形ノ特異上交通ハ主トシテ水路ニ依存ス「イラワヂタルタ」  
 地帯ハ大小河川網狀溝渠ニヨリ舟艇ノ交通容易ナルモ大發以上艦艇ニ於テ

ハ潮汐ノ乾満ノ影響ヲ受クルコト大ナリ

「タンカツブ」「アキヤブ」間「ベンカル」沿岸ニハ錯綜セル數多ノ水路アリ「アキヤブ」地區ヨリ「マニ」「カラダン」地區ヘノ交通ハ専ラ「マニ」「カラダン」兩河ヲ主体トスル水路ニ依ル

第五 雜 養

「アランメヨウ」以北ノ乾燥地帯ヲ除キ平地ハ總テ水田ニシテ主食ノ稻給容易ナリ「イラワジデルタ」地帯特ニ「バセイソ」周邊ハ稲甸ニ於ケル主要ナル米産地ナリ

住民ハ各戸役牛多數ヲ有シ食牛ノ取得容易ナリソノ他ノ平地ハ野菜ノ取得沿岸並ニ「イラワジデルタ」地帯ニ魚獲容易ニシテ現地自活可斷ナリ

然レ共「カラダン」「マニ」「アキヤブ」地區「アラカン」山脈「ブロー」以北地區ノ用兵ノ爲ノ難林ハ總テ道途ヲ要ス

第六 宿 營

「キイタ」村竹材ニツキテ<sup>木</sup>葺子ソノ他種地建築材料ノ取得容易ニシテ簡易ナル宿舎ヲ建築スルコトヲ得

住民ノ家屋ハ一般ニ簡單ナル竹造家屋多ク不潔ニシテ宿營給養ニ適セス

第七 衛生

作戦地域一般ニ「マラリヤ」「アメーバ」赤痢等ノ悪疫アリ特ニ雨季ニ於テ  
甚シク將兵ノ罹病八〇%ニ達シタルコトアリ作戦ニ影響スルコト大ナリ「アラカン」山脈  
始メソノ他ノ山脈ハ之等悪疫ノ發源地ナリ

第八 住民

作戦地域内ハ緬甸人教モ多ク概ネ平地ニ居住シアリ其ノ他ノ小教民族ノ分布  
状態左ノ如シ

カレン人 イラワレタルタ地帯南端

アラカン人 アラカン山脈及ベンカール河沿

カモイ人 モードク山脈

チン人 アラカン山脈

印度人 平地ノ主要村落及アキヤブ地区ニ散在ス

華僑 主要都市ニ散在ス